

授業科目：母子看護実習Ⅰ	2年次	必修	2単位	90時間	実習
--------------	-----	----	-----	------	----

時間	項目	内容
90	母子看護実習Ⅰ	実習要項参照
目的：子どもの成長発達を捉え、発達段階に応じた成長発達を促進する関りの基礎的能力を養う。		
目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの特徴をふまえ成長発達の実際を通して、子どもの取り巻く環境と生活について理解する。 2. 子どもの発達段階や様々な活動場所（保育や学校）の特性に応じた関りについて理解する。 3. 実習体験を通して子ども観を深め、今後の課題について考える。 		
実務経験のある教員：山口 貴子 他 看護師・養護教諭としての経験を活かし、学生が子どもの成長発達を捉え、発達段階に応じた成長発達を促進する関りの基礎的能力を身につけることを支援する。		
評価方法：実習評価基準に基づいて評価する。		
先修科目：なし		
実習場所： 保育施設、小学校、特別支援学校		

授業科目：母子看護実習Ⅱ	3年次	必修	2単位	90時間	臨地実習
--------------	-----	----	-----	------	------

時間	項目	内容
90	母子看護実習Ⅱ	実習要項参照
目的：母子が安心して地域で過ごすために、妊娠から子育て期までの特徴を理解し、健康維持増進のための切れ目のない支援について基礎的能力を養う。		
目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 周産期及び子どもの成長発達について必要な基礎知識を理解した上で実習に臨むことができる。 2. 妊婦健康診査を通して、妊婦が安心して過ごせるための支援の実際を学ぶ。 3. 対象の妊娠・分娩期から産褥期の経過を踏まえ、母児一体としての看護の実際を学ぶ。 4. 新生児の生理的变化を踏まえ、対象の児の健康状態を判断し、援助を一部実施する。 5. 子育て広場を活用している親子を通して、地域子育て支援事業の必要性について述べる。 6. 健康障害がある子どもと家族への支援の実際を学ぶ。 7. 母子が安心して地域で過ごすための多職種との連携・協働について、既習の知識を用いて述べる。 		
実務経験のある教員：土田 雅美 他 助産師としての臨床経験を活かし、母子が安心して地域で過ごすために、学生が妊娠から子育て期までの切れ目のない支援の基礎的能力を身につけることを支援する。		
評価方法：実習評価基準に基づいて評価する。		
先修科目：周産期看護学援助論		
実習場所：新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院 地域子育て支援拠点事業（南魚沼市会場・魚沼市会場）		